

硬病り院

HOSPITAL NEWS

2017年4月

発行所 せたな町立国保病院
発行責任 患者サポート委員会
〒049-4501 せたな町北檜山区北檜山378
TEL0137-84-5321
せたな町立国保病院ホームページ
http://www.town.setana.lg.jp/hospital/

せたな町立国保病院から
お知らせ

5月に接遇向上委員会による、「患者満足度調査」を行います。
5分程度で行えるものになっておりますので、来院の際にはぜひご記入ください。皆さまの声をお待ちしております。



広田師長の一言

せたな町の皆様、初めまして！
この度、函館より国保病院に赴任させていただきましたことになりました。広田 貢と申します。
これまで主に救急部門での勤務が多く、せたな町にはドクハリのフライトナースとして、ヘリ搬送で何度か伺った程度です。ですので、また土地勘もない状況ではありますが、病院をご利用され患者様は勿論、より多くの町民の皆様と触れ合い地域医療に貢献したい所存ですので、よろしくお願いいたします。



夜間診療 火曜日・木曜日

〔受付時間〕
午後5時30分～7時まで

蕁麻疹かも…

と思っいたら受診を！

「数日前から、体にぶつぶつができて痒いんです。」と受診される方がいらっやいます。

身体を診せていただく、広範囲にわたり膨隆疹が出てることが多々あります。

蕁麻疹(じんましん)という名前は、イラクサ(蕁麻)を触ったときに同様の症状が出ることから、付いたと言われています。人によっては痒み以外に、チクチクとした痛みを感じることもあります。

湿疹と同じく痒みを伴いますが、幹部が力サカサすることなく皮膚が赤くぶくりと膨らんだように見え、円形や楕円形で大きさま様々です。

これは血液中にヒスタミンという物質が作られることにより、血管内の水分が

外にしみ出て皮膚が腫れると言われています。

蕁麻疹は大きく、アレルギー性と非アレルギー性に分けられます。蕁麻疹の原因や誘因となるものはとても多く、蕁麻疹の約7割が突発性で、原因を突き止めることが難しいと言われています。

では、蕁麻疹が出た時はどうしたらよいのでしょうか。

蕁麻疹は、数時間で自然に消失するものもありません。数時間経っても消失しない、どんどん広がっていく、痒みが辛いなど症状が強い時はすぐに受診をしてください。蕁麻疹は身体だけでなく、まぶたや唇にもできます。場合によっては息苦しさを感ずる場合があります。息苦しさを感ずる時は、すぐに受診をして

ください。
蕁麻疹が出たときは、なるべく安静にし、長風呂を避け、痒みが強いときは冷やすようにしましょう。(寒冷蕁麻疹を除く)
不安な時は相談してください。

タバコの害についてー出張授業

今年2月、卒業間近な瀬棚小学校、北檜山小学校6年生の皆さんに「タバコの害について」出張授業を行いました。

タバコの健康被害については第7号の病院便りでも取り上げたことがあります。

当院には禁煙外来がありましたが、過去5年間に禁煙外来を受診した方は40名です。禁煙できた方、残念な

から失敗してしまった方もいます。

外来受診された患者様に禁煙外来を薦めることがあります。「禁煙したいとは思っているけど、止めようとする意志がないんだ。」と話される方「止めるつもりはありません。」とはっきり断る方も様々です。すぐに禁煙外来を受診し、禁煙に成功された方もいます。

昔はタバコを吸っていた、病気になるから止めたという方もいらっやいます。しかし、病気になるからでは遅いのです。

出張授業を受けた生徒さんの言葉です。
「海外と日本の広告が全然違うのにびっくりしました。お父さんがタバコを吸っています、まだ愛情のサンドイッチができていないのでがんばります。」
お子様やお孫さんから禁煙を薦められたら、大切な家族のためにぜひ、禁煙を

非常時伝達訓練から見えた課題

2月9日、北海道の防災会議地震専門委員会が道内日本海側沿岸など36市町村の津波浸水予測図を公表しました。

今回の予測は、2011年東日本大震災を踏まえて見直したものです。それによると、せたな町は最大予想津波高が前回の

2.4倍の26.9mと予測されました。

こういった災害の恐ろしい理由の一つは、いつ起こるか分からないということです。昼間かもしれないし、真夜中、早朝かもしれません。

そういった災害に備え、防災委員会では常に最悪の

事態を想定して訓練を行っています。

もし、夜に災害が発生したら職員のほとんどは院内にいません。そのような非常時に、職員の連絡網はどのくらい機能するのか…。連絡に要する時間や問題点を明らかにし、今後の防災活動に役立てるため、防災委員では、日にち・時間

訓練を行いました。

スムーズに連絡が回ったところもあれば、着信に気付かない人、運転中だった人、お風呂に入っていた人…と結果は様々でした。

連絡網を使った訓練は今回が初めてでしたが、非常時にどれだけの職員に情報が伝えられ、その後の行動に繋がれるかが重要となります。

連絡網の順番の見直し、災害時の職員招集ルールの



防災委員会の様子

西片

徹底を今後の課題とし、次に繋げていきたいと思っております。



出張授業を受ける生徒の皆さん

考えとください。禁煙サポートチーム

医療安全NEWS! 患者誤認防止シミュレーション研修会報告

平成29年3月29日(水) 17:30より医療安全委員会研修として「患者誤認防止シミュレーション」を行いました。病棟は「投薬時の患者確認」、外来は「注射時の患者確認」、事務は「会計争の患者確認」とそれぞれの場面を設定し、各部門の学習者が実際の業務で行っている手順で患者確認を行いました。日常ケアにおいて、患者確認のルールを遵守することの重要性を学ぶためのシナリオです。

院内の様々な職種のスタッフが3グループに分かれ、シミュレーションを評価しどこが出来ていなかったかなどを発表しました。普段から行っている事も、多職種のスタッフから見るとそれで大丈夫なの?と意見があり、改めて確認業務の必要性と医療者としての責任を感じる研修会になりました。さらに当院での医療安全の基準が保たれる様に、研修や講習を継続していきます。

地域がら同姓や似た名前の方が多く、フルネームでの確認の重要性を実感しています。今後も、患者誤認防止のために、患者様にはフルネームでの名前の確認をいたしますのでご協力をお願いいたします。

医療安全委員会 熊谷



病棟患者確認シミュレーション



事務患者確認シミュレーション



外来患者確認シミュレーション

接遇向上委員会

医療・看護行為とマナー・接遇はもはや切り離すことはできないものです。

多くの医療機関が接遇の重要性を認識し、取り組みを行っている中、当院にも接遇向上委員会が立ち上げられ、活動を開始しました。

当委員会は全職員が患者さん及び御家族との人間関係を円滑にするマナーを身につけ、満足できる医療サービスを提供する為の知識・態度・技術・動作を培うことを目標のひとつとしております。

昨年、接遇研修会に参加し、全国の看護師や医療従事者が患者さんとご家族への対応の向上について、悩みながらも真摯に向き合う姿に感銘を受けました。日常の業務を振り返り、当院で接遇レベルを向上する為に来ることを考える機会となりました。

まずは現状と問題点の把握をしております。先日、全職員への自らの行動の振り返りとアンケート調査を行いました。5月より患者満足度調査を予定しております。患者さんやご家族・施設スタッフの方々の貴重な意見をいただく機会となります。外来や入院患者さん及び面会の方など病院を利用される皆様に、5分ほどで出来るアンケート調査を予定しております。町民の皆様のご協力をお願いいたします。

改善すべき点は多く、皆様に満足していただくまでに時間を要する部分もあるかと思いますが、「患者さんの安心・安全を守る」ことはもちろんのこと、患者さんに満足していただける病院を目指し委員一同努めていきます。

接遇に病院の規模は関係ありません。「地元の小さな病院だからこそできる心の通った対応」を目指していきたいと思っております。

接遇向上委員長 佐藤



<接遇向上委員会>
鳴海、菅又、佐々木医師
森(史)、佐藤、鈴木(美)

患者サポート委員会

- 広田 看護師長
- 鈴木 看護副部長 (病棟)
- 簗島 看護副部長 (病棟)
- 禿 看護副部長 (外来)
- 大津 相談員 (地域医療連携室)
- 白岩 外来看護師 (医療対話推進者)
- 伊藤 事務局医事係 (医療対話推進者)

平成29年2月・3月

[相談0件] [苦情5件]
病棟2件、事務1件、その他2件

患者サポート窓口

病院1階 地域連携室

<受付時間>

月・水・金 8:30~17:15
火・木 8:30~19:00

夜間の救急受診時の対応について、ご紹介いたします。夜間は1階守衛室で受付後、診察は2階病棟で対応をしております。

受診時は電話連絡をいただくと、来院前に外来カルテの準備や、当直医への連絡が事前に行えるため、スムーズな対応が可能となります。病棟の状況により、お待たせすることもあります。ご協力をお願いいたします。

先日、夜間受診時に「あの患者はなぜ昼間に来ないのか。」と医師が看護師に確認している声が聞こえ、不快に感じたとの意見をいただきました。

不安な思いで受診されている患者様に対し、配慮のない言動があり、申し訳なく思っています。今後は、接遇の改善に努めますので、救急時は安心して受診していただきたいと思っております。

患者サポート委員会では、町民の皆様により気軽に患者サポート窓口をご利用いただきたいと考えております。

医療や介護の相談、どこに相談してよいか迷ったときは、お声がけください。また、電話での相談も承っております。

編集後記

患者の声に耳を傾ける。相手の身になって考える。対話を持つよう努力する。

「うそをつかない医療」(豊田郁子著より)

時々本を読み返し、医療対話推進者とは何ぞやと考えます。医療対話推進者研修を受け、患者サポート委員会が立ち上がり3年。

医療対話推進者とは、患者・家族と医療者との対話を助ける「架け橋」です。

広田師長が就任し、心新たに患者サポート委員会も活動を開始しています。(白)

食物アレルギーに対する生活管理指導表の記載は当院でも対応しております。来院前にご連絡ください。